

まち地域のかえ広場 No.4

町への思い、地域への思い、議会への思いを届けます。

人は温かく優しいこの町。がんばれ 黒潮町！



島本 良和さん(63歳 田野浦在住)
今日は「あったかふれあいセンター
みうら」で楽しいひと時を…
(令和6年3月29日)

今で言う「イターン」に近い形で父の出生地である旧・大方町で暮らし始めて、気が付けば町外で暮らした年数の2倍を今年の秋に迎える事となり、時間の経過の早さを感じる頃です。昨今の「少子高齢化」に加え「若年人口流出」問題がある我が黒潮町。行政・議会・関係団体等、関係者は手をこまねくことなく、解決に尽力・苦闘されている事と推察します。しかし、未だ「歯止め」が効かないのが現状です。合併当初は1万4千人近くあった人口が、現在は1万人台を何とか維持しているという状況。前回の町議会議員選挙では1人欠員の「定員割れ」となりました。

課題山積の我が町、黒潮町。でも人は温かく優しい、この町。がんばれ、黒潮町！

鈴大敷を守ってくれる後継者が欲しい！

鈴から同級生11名と歩いて中ノ川峠を越え、拳ノ川中学校(現在の拳ノ川診療所所在地)へ通学した。昭和39年3月に卒業して、大阪のベニヤ会社と金属会社で26才迄働いてUターンし、現在迄漁業に従事して来た。漁法は一本釣と網で、カツオ、サワラ、イセエビ等を主体として来たが、60才手前から鈴共同大敷組合で働いている。

また、長年消防団活動に携わり、瑞宝単光章を戴いたが、地域を代表して受賞したものと感謝している。

鈴地区は、昭和40年当時80戸336人が生活し、活気もあった。今は高齢者を中心に60人位だが、最近は大敷でブリの豊漁もあり、給料制も取り入れているので、豊かな漁場を守ってくれる後継者がほしいね。今年4月から「特定技能外国人雇用」制度で、インドネシアより2名の若者が鈴に居住して働いてくれるので、心強く思っている。

今後も、鈴地区で安心して生活するためにも、地震津波に対する安全な高台への避難場所がほしいね。



出漁準備中の山中 孝明さん(75歳 鈴在住) (令和6年3月16日、鈴漁港)

編集後記

町なかでも、山々でも木々が芽吹き、新緑が眩しい季節となってきました。

新年度が始まり、入園・入学・就職など、各家庭でも緊張や期待など、新たな気持ちの中で過ごされていることと思います。

3月議会では、新年度の予算も決定され、新たな事業もいくつかスタートします。

誰もが快適で住んで良かったと思える黒潮町となるよう、議会も住民の皆さんと共に、力を出し合って諸課題に取り組んで行きたいと思っています。

(水野 佐知)

議会広報常任委員会

委員長	宮川 徳光
副委員長	小松 孝年
委員	奥本 哲也
同	濱村 美香
同	水野 佐知
同	山本 牧夫

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 令和6年5月1日